

えきたい すす 液体せっけんで進む船

<p>ひつよう どうぐとう 必要な道具等</p>	<p>えきたい 液体せっけん（ハンドソープ）、えんぴつ めんぼう はっほう 鉛筆、綿棒、発泡トレー、はさみ、 タオル、プラスチック容器、ようき 水を入れる容器、ようき 水</p>
------------------------------	---

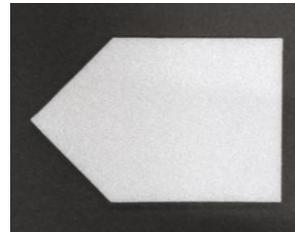
じっけんほうほう ＜実験方法＞

① プラスチック容器に、液体せっけんを入れる。

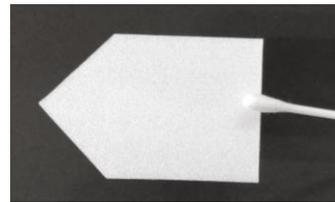
② 水を入れる容器に水を入れる。水をこぼしてもすぐにふけるように、タオルを用意しておく。



③ トレーに鉛筆で船の形を描いて、はさみで切る。



④ 右の写真のように、トレーの船の後ろに、綿棒で液体せっけんをつけて、水を入れた容器に浮かべる。



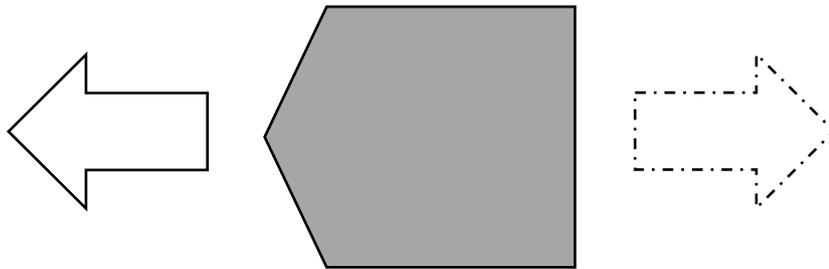
※ 何度も実験をしていると、船が動かなくなるので、その時は水を交換する。



<なぜ、進むのかな？>

水には表面張力という力があり、その力で船の周りが水に引っ張られています。

せっけんは表面張力を弱くする働きがあるので、後ろ側は弱くなるため、船が前に進みます。



<工夫してみよう>

自分でトレーを好きな形にして実験をしてもおもしろいです。トレーの形や液体せっ

けんをつける場所を変えると、船が曲がって進んだり、くるくる回ったりします。



他にも、水に浮かべた船のすぐそばに液体せっけんを垂らして動かす（綿棒につけた液体

せっけんを船のすぐそばの水面につける）方法もあります。

